

ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～ KAKENHI(研究成果の社会還元・普及事業)を実施しました。

8月6日(土)、7日(日)の両日、本学のオープンキャンパスにあわせ「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI(研究成果の社会還元・普及事業)」を実施しました。

この事業は、大学で行っている最先端の科学研究費補助金による研究成果について、小学校5・6年生、中学生、高校生の皆さんが、直に見る、聞く、触れることで、科学のおもしろさを感じてもらうプログラムで、独立行政法人日本学術振興会の委託事業として採択を受け実施するものです。

本学では、高校生(2・3年生の女子)を対象として、「生命の神秘と誕生ー赤ちゃんの発育と子宮の病気ー」(実施代表者:産婦人科学 小林 浩教授)と題したプログラムを実施し、8月6日 20名、7日 21名が受講しました。



実施代表者の小林教授

プログラムでは、若い女性がかかりやすい子宮の病気の原因とその予防などについての講義や胎児超音波をシミュレーション機器を用いて自分で体験できる実習などを実施しました。受講生たちは、講義や実習を通して、子宮の中で育っていく赤ちゃんを観察し、生命の尊さや子宮の大切さを学び、どのようにしたら大切な子宮を病気から守ることができるかを自ら考えました。





普段の授業では学べない内容に熱心に耳を傾ける受講生



子宮頸部の病理組織を顕微鏡で観察し、スケッチ



シミュレーション機器で胎児超音波を体験



二班に分かれ実習



小林教授のお話し

すべてのプログラムが終了した後、実施代表者の小林教授から、受講生一人一人に未来にはばたく知識を取得した証として、修了証書「未来博士号」を授与しました。



小林教授から「未来博士号」を授与



修了証書「未来博士号」



受講生と実施者が記念撮影

